

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ △午後新患(予約のみ) ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

科別	氏 名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川 本 徹	△					内科一般	副部長
	当 番 医	○	○	○	○	○	※当番医:内科系医師による交替制	
消化器内科	平 川 克 哉							副院長
	鳥 巢 剛 弘		○	▲	○			
	冬 野 雄 太	▲				○		部長
	押 領 司 祐 貴 子		○					
	吉 原 崇 正		▲	○			消化器 (食道・胃・小腸・大腸)	副部長
	江 頭 信 二 郎	○						
	大 久 保 公 晴				○	▲		
肝臓内科	曾 根 崎 春 香				▲			部長
	非 常 勤 医 師				▲			
	岩 下 英 之		○	○		○	肝疾患一般・肺炎 ※月・木は10時から受付 ※胆・脾疾患一般(肺炎除く)は外科	
腎臓内科	福 田 祥	○			○			部長
	姫 野 修 一							
	德 本 正 憲	●		○				副部長
腎臓内科	中 井 健 太 郎	○		▲				
	原 雅 俊		▲		○			
	上 原 景 大 郎		○					部長
	濱 小 路 隆 史		▲			○	金は第2・4のみ	
	園 田 慎 一 郎	▲				○	金は第1・3・5のみ	
	大 田 有 穂							部長
	星 野 花 奈 子							
糖尿病・代謝・内分泌内科	服 巻 日 向 子							
	井 元 博 文	●	○		○		糖尿病、代謝、内分泌、 生活習慣病	部長
	豊 永 雅 恵	○				○		
	泊 秀 史	▲		○	▲			副部長
	武 井 祐 樹		●		▲	▲	※内分泌新患は火・金のみ (受付は10時まで)	
	糖尿病担当医師			●		●		
	内分泌担当医師		○			○		部長
循環器内科	非 常 勤 医 師		●					
	向 井 靖		○	○	○			
	松 浦 広 英		○	▲				部長
	大 賀 泰 寛	○			▲			
	徳 留 正 毅		▲	○				副部長
	河 合 俊 輔	○		▲				
	岡 原 有 秀					○	循環器	部長
	酒 見 拓 矢							
	山 本 泰 史				○	▲		
	増 永 智 哉		○					部長
	古 賀 優 輔	▲						
	黒 木 勇 人	▲						
高血圧内科	岩 崎 太 一							副院長
	大 坪 俊 夫	△					高血圧 13時半から	
	中 垣 恵 明	●	○	○	▲			部長
呼吸器内科	麻 生 達 雄	○			○			
	川 床 健 司					○	呼吸器一般	部長
	平 山 藍 子							
	石 原 裕 基							
	菅 藤 丈 嗣							部長
血液・腫瘍内科	谷 本 一 樹		○		○			
	平 安 山 英 穂			○				
	河 野 一 郎	○					血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法	部長
	次 郎 丸 高 志					○		
	上 坊 昌 也							
脳神経内科	北 山 次 郎	○		○	▲			部長
	岡 田 卓 也			○		○	神経一般	
	中 島 弘 彦	▲			○			
膠原病内科	金 沢 信		○			▲		部長
	今 泉 利 崇		▲					
	井 上 靖	●	○	○	○		膠原病 ※紹介予約は火・金の午後のみ	
感染症内科	田 中 淳		○	●	●			部長
	中 野 未 来		△	●	●			
	非 常 勤 医 師					△		
外 科	三 宅 典 子		△			△	感染症一般 (14時～15時受付)	部長
	井 上 健							
	大 石 涼							
	中 房 祐 司	○					消化器外科、乳腺外科	院長
	永 井 英 司	○			○		消化器外科	
	本 山 健 太 郎			○			腎移植外科	副院長
	小 島 雅 之	○			○		呼吸器外科	
	上 田 純 二				○		消化器外科、肝胆膵外科	部長
	井 上 重 隆	○			○		消化器外科	
	岡 部 安 博	○					腎移植外科	部長
	小 倉 康 裕	○			○		消化器外科、肝胆膵外科	
	小 林 毅 一 郎	○					消化器外科	部長
	三 好 圭	▲			▲		呼吸器外科	
	亀 田 千 津		○				消化器外科	副部長
	小 田 康 徳				○	○	消化器外科	
	松 田 圭 央	○			○		消化器外科、肝胆膵外科	副部長
	服 部 正 見	○	▲	○	▲		乳腺・内分泌外科	
	森 睦 美	○	○	○			乳腺・内分泌外科	
	中 島 陽 平	○	○				消化器外科	
	友 杉 隆 宏		○	○				部長
	岡 田 祐 汰							
	新 郷 寅 吉							
	小 田 倫 久							
心臓血管外科	宮 本 和 幸	○			○		心臓外科、大動脈瘤、 血管外科 ※火・木のみ	部長
	満 尾 博		▲		▲			
脳神経外科	武 村 有 祐	○		手 術 日	交 替 制	○	脳神経外科疾患 ※水は手術日	部長
	神 崎 由 起		○					
	橋 川 武 史					▲		

科別	氏 名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹 下 弘 道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎 ※月は10時まで、再診は完全予約制	部長
	田 中 宏 治	○	○	○	○	○		
眼 科	久 保 夕 樹	○	○	○	○	○	糖尿病性網膜症、白内障、緑内障 ※火は10時まで、木は手術日	副部長
	西 田 崇	○	○	○	○	○		
整形外科	非 常 勤 医 師				手 術 日			部長
	池 村 聡	○		○			関節外科	
	加 藤 剛	○		○			脊椎・脊髄外科	部長
	安 原 隆 寛	○		○			手の外科・外傷 一般	
	齋 藤 武 恭			○			脊椎・脊髄外科	副部長
	有 関 晋 吉	○		○				
	鶴 居 亮 輔			○				
	柏 木 彩 乃			○			外傷 一般 ※木は10時まで、火は手術日	
	衛 藤 凱	○		○				
	古 川 勇 真			○				
産婦人科	田 川 秀	○						副院長
	西 田 真			婦 産		産		
	藤 田 恭 之			産 産				部長
	和 田 智 子	婦 産			産 産	婦 産		
	濱 崎 洋 一 郎						周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術 ※火・木は10時まで	
	貴 島 雅 子	産 産		婦 産				
	井 町 佑 三	産 産				婦 産		
	鈴木 リリコ			婦 産	産 産			
	古 賀 万 里 子	婦 産				産 産		
	久 富 恵 理 香							
小児科	松 崎 聖 司			産 産		婦 産		部長
	森 一 馬							
	非 常 勤 医 師			婦 産				副部長
	長 友 太 郎	●					新生児 ※完全予約制	
	古 野 憲 司			●		●	アレルギー・循環器、感染 ※完全予約制	部長
	黒 木 理 恵			●			腎疾患 ※完全予約制	
	園 田 有 里			●		●	神経 ※完全予約制	副部長
	江 口 祥 美						循環器 ※完全予約制	
	渡 部 貴 秀			●		●	新生児 一般 ※完全予約制	
	三 窪 亮 二	●				●	腎疾患 ※完全予約制	
耳鼻咽喉科	非 常 勤 医 師				●		腎臓 ※午前のみ、完全予約制	部長
	非 常 勤 医 師				●		神経 ※午前のみ、完全予約制	
	新 患 担 当 医 師	○	○	○	○	○	循環器 ※午後のみ、完全予約制	副部長
	吉 田 崇 正	○	○	○	○	○	一般	
	高 良 佳 江	○	○	○	○	○	耳科学 耳鼻科一般 水は第2・4のみ 水は第1・3・5のみ	部長
	宮 崎 真 優	○	○	○	○	○	木は第2・4のみ 木は第1・3・5のみ	
	大 塚 杏 子	○	○	○	○	○	※火・木は10時まで ※火・木は10時まで ※火・木は10時まで	副部長
	奥 田 華 英	○	○	○	○	○		
	前 場 崇 宏	○	○	○	○	○	再建外科・皮膚科腫瘍・先天性疾患・咽頭腫瘍外科	部長
	清 島 圭 二 郎	○	○	○	○	○		
泌尿器科	秋 武 正 和	●	●	○	○	●	尿路結石、排尿機能障害、 尿路感染症、尿路性器腫瘍、 腹腔鏡手術、ロボット手術	部長
	城 戸 啓 伍	○	○	●	○	●		
	前 川 博 紀	●						副部長
	小 泉 幸 太 朗							
	芝 田 寿 美 男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、月を空の午前患者も診察 ※火・木は10時まで	部長
精神科	非 常 勤 医 師							
歯科・ 歯科口腔外科	田 中 翔 一	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 ※再診は完全予約制	副部長
	伊 東 美 穂	○	○	○	○	○		
	川 戸 達 也	○	○	○	○	○		
放射線科 (診断)	松 尾 芳 雄							部長
	中 武 裕							
	樋 口 賢 太 郎						検査依頼 (CT・MRI・RI等)のみ 電話予約制	
	高 瀬 華 恵							
	山 崎 修 司							
放射線科 (治療)	平 木 嘉 幸	●	●		●	●	放射線治療	部長
	非 常 勤 医 師							
麻酔科	迎 雅 彦							部長
	岩 下 耕 平							
	平 野 敦 梓							副部長
	佐 々 木 憂							
	立 石 萌							
	金 井 理 紗							
	古 川 壮 真						術中管理	
	友 清 梨 々 紗							
	安 達 理 沙							
	生 野 慎 二 郎							
病理診断科	丹 羽 紗 耶 加							部長
	西 山 憲 一						人体病理一般	
検査部	峰 真 理						検体検査管理	副部長
	友 尻 茂 樹							
救急科	荒 武 憲 司						救急(各種中毒疾患含む)	部長
	皆 川 雄 郷							
	弓 削 理 絵							副部長
	大 坪 俊 夫							
	健 診 部						人間ドック・健康診断	副院長
	大 坪 俊 夫							

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)
※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。

●急患診療体制
※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時～23時
	土・日・祝日	8時30分～23時
小児科	土(祝日除く)	9時～17時

●休診日 土・日・祝・年末年始 (12/29～1/3)
※



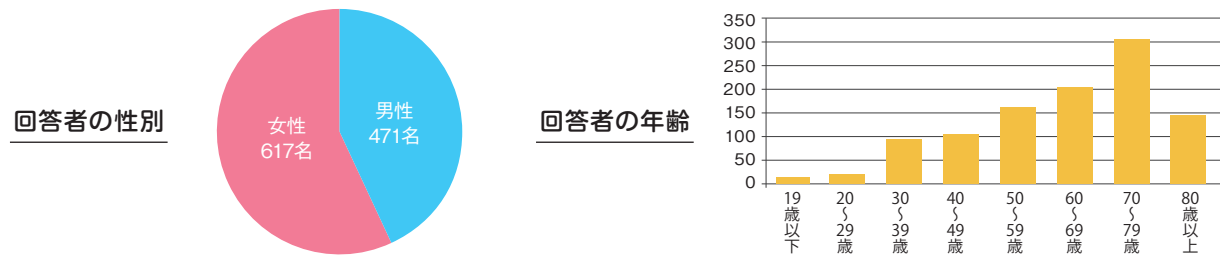
患者満足度調査結果

～当院では毎年、患者満足度の調査を行っております～

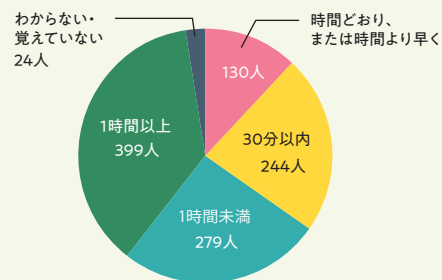
外来編

調査期間：令和6年10月1日～4日実施

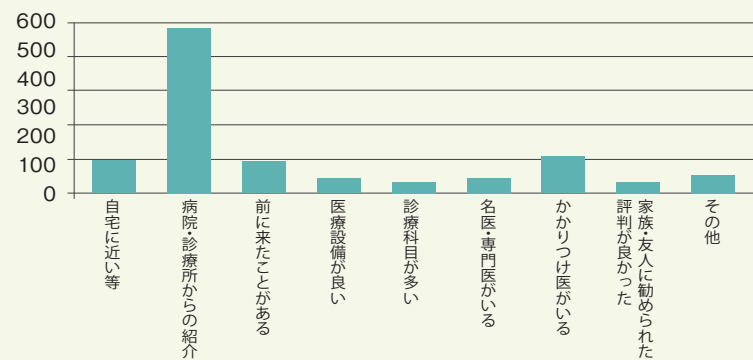
外来編の調査にご協力いただいた患者さんについて（回答者数：1088名）



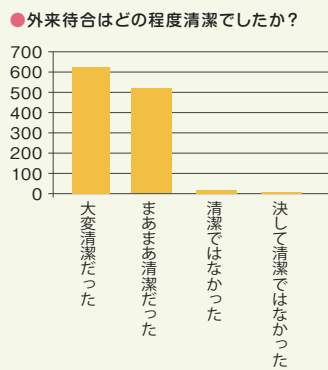
調 待ち時間について



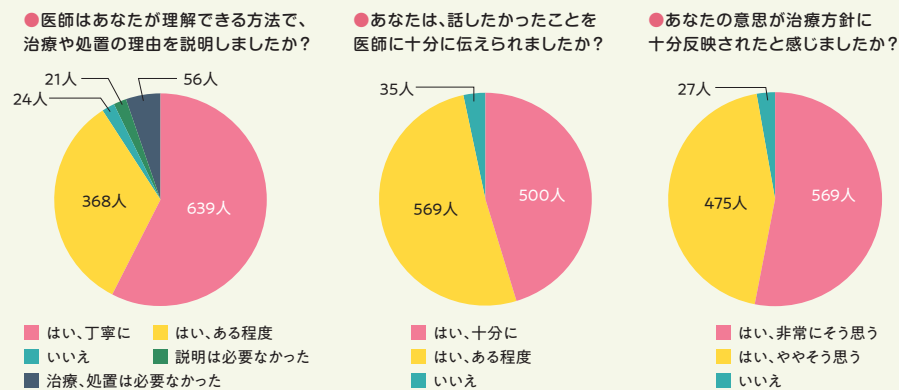
調 当院を選択した理由



調 病院環境と設備について



調 診療全体について



調 職員に対する満足度

医師の対応は親切・丁寧な対応でしたか？	看護師の対応は親切・丁寧な対応でしたか？	医師・看護師以外の職員の対応は親切・丁寧な対応でしたか？
はい、すべて親切・丁寧な対応だった	はい、すべて親切・丁寧な対応だった	はい、すべて親切・丁寧な対応だった
792	790	727
はい、一部では親切・丁寧な対応だった	はい、一部では親切・丁寧な対応だった	はい、一部では親切・丁寧な対応だった
261	260	328
いいえ	いいえ	いいえ
20	14	17
医師とは関わりがなかった		
4		

令和6年度の評価

以前よりご指摘いただいております、待ち時間については、時間短縮が課題となっています。待ち時間の短縮に向けて、引き続き検討を行って参ります。

入院の項目については、昨年度に比べて接遇面で評価が下がった結果となりました。今後とも患者さんからの声に耳を傾け、満足していただけるように、改善に努めて参ります。

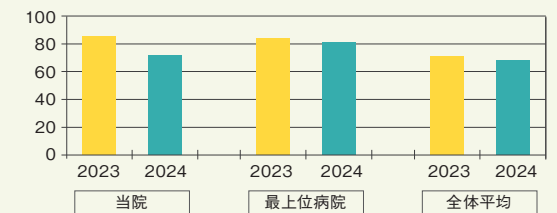
サービス向上委員会

入院編

調査期間：令和6年9月～10月実施

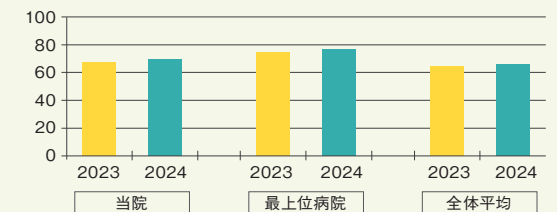
調 医師とのコミュニケーション

設 問	2023年	2024年	変 化
礼儀と敬意をもってあなたに接しましたか	90.36	81.25	↓ -10.08%
あなたの話を注意深く聴きましたか	80.72	75.43	↓ -6.56%
あなたにわかりやすく説明をしましたか	78.31	73.30	↓ -6.41%
全体平均	71.67	70.75	



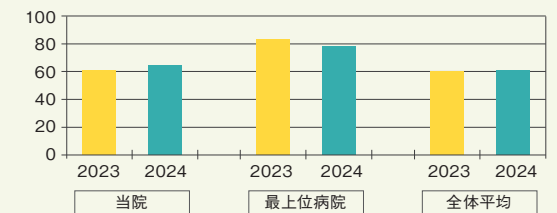
調 看護師とのコミュニケーション

設 問	2023年	2024年	変 化
礼儀と敬意をもってあなたに接しましたか	69.41	70.62	↑ 1.74%
あなたの話を注意深く聴きましたか	60.00	69.49	↑ 15.82%
あなたにわかりやすく説明をしましたか	65.88	68.18	↑ 3.49%
全体平均	65.70	66.11	



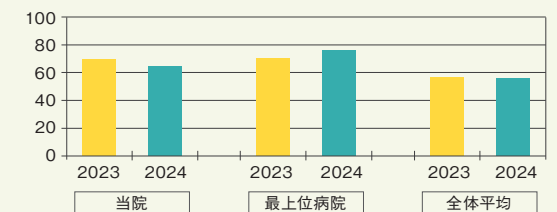
調 病院職員の対応

設 問	2023年	2024年	変 化
ナースコールを押した後、すぐに援助が受けられましたか	66.67	66.67	
トイレや尿器・便器を使用する際に、すぐに介助が受けられましたか	60.71	64.06	↑ 5.51%
全体平均	60.40	60.22	



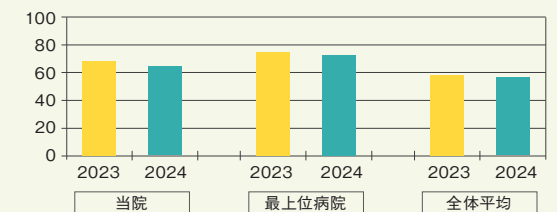
調 薬剤に関するコミュニケーション

設 問	2023年	2024年	変 化
新しい薬を渡される前に、病院スタッフは、それが何のための薬であるかを説明しましたか	84.00	76.52	↓ -8.90%
新しい薬を渡される前に、病院スタッフは、生じうる副作用についてわかりやすく説明しましたか	57.14	52.17	↓ -8.70%
全体平均	58.65	57.37	



調 病院の総合評価

設 問	2023年	2024年	変 化
入院中のこの病院を0から10点で評価してください（最も悪い場合を0点、もっともよい場合を10点とします）	67.07	64.77	↓ -3.43%
全体平均	59.85	58.89	

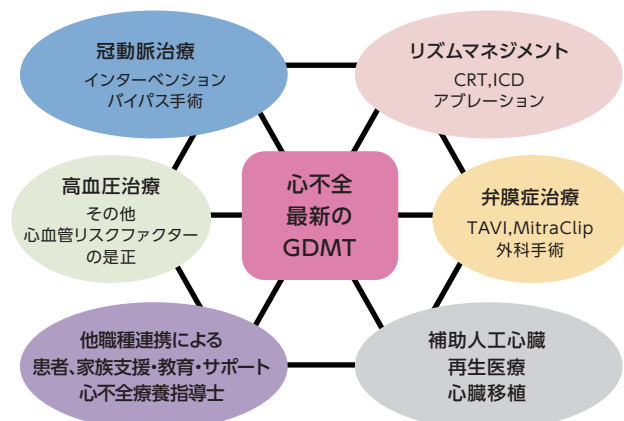




循環器内科部長
救急センター 副センター長

向井 靖

循環器内科は向井部長以下、13名体制で診療にあたっています。循環器内科常勤医師が夜間休日にも常駐し、急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離などの急性疾患を24時間365日体制で受け入れています。年間約1600名（うち720例が緊急入院）の入院患者様を診療しています。心臓血管外科と連携し、毎朝ハートカンファレンスを開催し、入院患者様に関して十分なディスカッションのもと、治療方針を決定しています。近年は高齢化もあり、複雑な病態や、併存疾患も踏まえながら治療を包括的に組み立てることがとても重要になります。我々は、患者様個々の治療ニーズを見紛うことなく、適切な治療を適切なタイミングで提供することを心がけています。

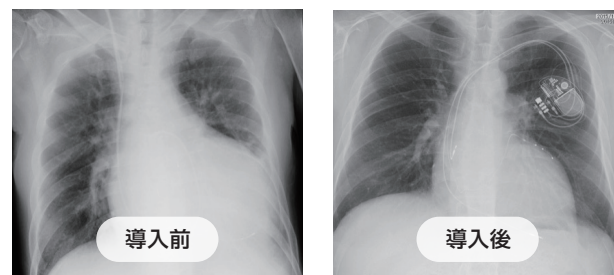


図：循環器疾患の治療ダイアグラム

心不全の予後改善へ

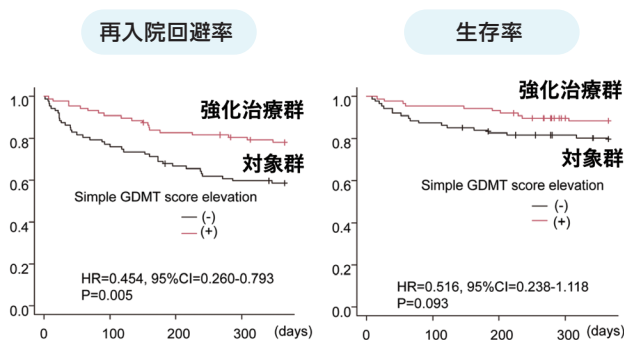
あらゆる循環器疾患の終末像として、心不全という病態があります。超高齢化社会において、心不全パンデミックがすでに来ていると言われています。心不全は進行性の病態ですので、まず心不全にならないように各病態の管理を行うこと、そして入院を要するような顕性の心不全を発症した後は、再入院を防ぐべく薬物治療、非薬物治療を適切に施すことが重要です。当科では心不全に特化した非薬物治療としては両心室ペースメーカー（CRT）の施術症例が多く、例年20例以上に導入しています。

図：両心室ペースメーカーによる心不全治療



近年、心不全の薬物治療は十分に導入し、最適化することの重要性が言われています。当科ではエビデンスのある薬物治療を強化することで予後改善が可能であることを自施設のデータベース研究により明らかにし、報告しています（Circulation Journal 2024;88:1416-1424）。

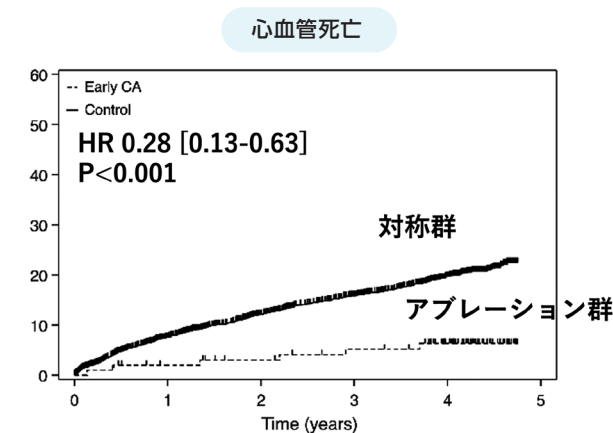
図：ガイドラインに準拠した強化薬物治療の効果



カテーテルアブレーションの躍進

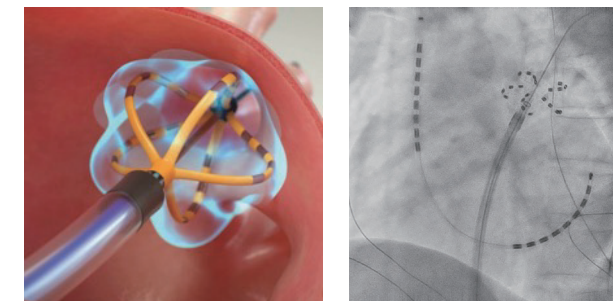
カテーテルアブレーションは頻脈性不整脈の責任部位を焼灼する治療です。あらゆる不整脈病型が対象となりますが、近年その進化が目覚ましく、大きな治療効果・予後改善が得られることが報告されています。九州大学の研究チームと私たちは、心不全患者に心房細動を合併している場合、積極的に早期アブレーションを施すことで生命予後改善できる可能性をデータベース研究により明らかにしました（J Am Coll Cardiol EP. 2023;9:1948-1959）。

図：心房細動アブレーションによる生命予後改善効果



この1年の注目の話題は、パルスフィールドアブレーションという新しい治療デバイスの国内導入です。この方法は従来の熱伝導によるアブレーション治療と異なり、治療標的である肺静脈前庭部の心房筋のみを障害し、周辺臓器への影響が少なく、安全性が大きく向上すると期待されています。また、手技時間も大きく短縮し、1時間程度での治療完結も可能となっています。当科では2024年に全国的に見てもいち早くパルスフィールドアブレーションを導入し、すでに100例を超える多くの患者様に治療効果を実感していただいています。一方で、心房細動は難治例、再発例が多いのも事実です。そのような症例に対しては特殊なマッピング法を用いた我々独自のテラード治療を駆使し、難治例に対しても成果を上げ、新たな治療戦略を提案しています。

図：心房細動に対するパルスフィールドアブレーション



終わりに

循環器診療は近年多様化と進化が目覚ましく、どの手法をどの順番で用いるのか、治療戦略の組み立てがより重要になっています。当科では向井部長をはじめあらゆる循環器疾患に精通したチームで総合力のある循環器診療を展開しています。どのようなご相談でも構いませんので、今後ともご指導ご紹介のほど、よろしくお願い申し上げます。



当科およびカテーテル室のスタッフ
(2025年6月・アブレーション2500例記念)

連絡先

福岡赤十字病院 循環器内科

Tel 0570-03-1211 (代表)
新患外来 月火水木金 受付時間 8:00~11:00
(事前予約は必須ではありません)

急患対応は365日・24時間



放射線治療について

About Radiation Therapy



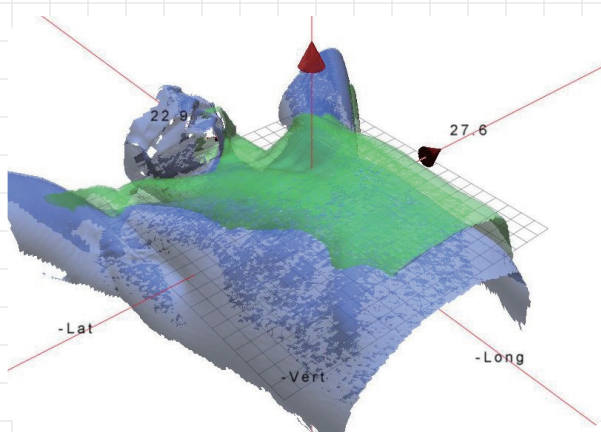
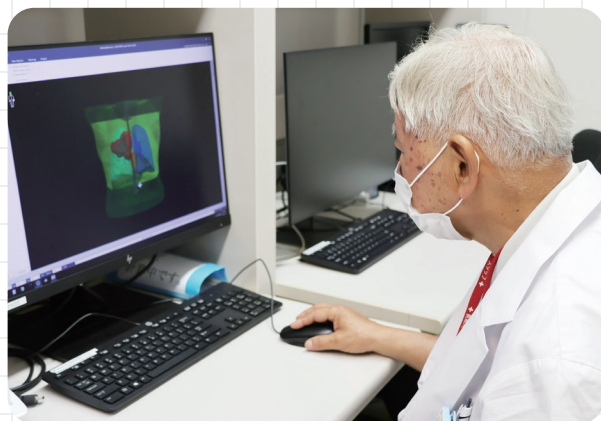
放射線治療は手術療法、化学療法と並び、がん治療の3本柱のひとつで、がん集学的治療の中で重要な役割を果たし、『全身への影響が少ない』『臓器の形態・機能を温存する』『通常の保険診療で行える』などのメリットがあります。近年の技術進歩は著しく、がん組織に集中的に線量を照射し、周囲の正常組織への線量を限りなく低く抑えることが可能となっています。

当院は2022年に最新鋭の放射線治療装置であるエレクタ社製リニアック「VersaHD」を導入するとともに、体表面光学式トラッキングシステム「Catalyst+HD」を併せて導入いたしました。「Catalyst+HD」は体表面の情報をもとに位置合わせを行う装置であり、従来のように体に直接マーキングする必要がなくなりました（マーカーレス）。そのため、肌着にインクがうつることはありませんし、マークが消えないかといった心配がなくなり、患者様のQOL（Quality of Life: 生活の質）向上が実現できています。また、「Catalyst+HD」は1mm程度のずれを検知可能であり、マーカーレスであっても従来以上の位置合わせの精度を十分担保したうえで治療を実施致します。

その他にも頭部や肺に対する定位放射線治療や従来の放射線治療に比べて照射期間を短くできる寡分割放射線治療などにも積極的に取り組んでいます。通常は診察から照射開始まで1～2日ほど必要ですが、癌性疼痛などにより早急な治療開始が必要な際には、最短で1時間ほどで治療を開始できる体制を整えています。

当院には十分な経験を積んだ放射線治療専門医をはじめ、医学物理士、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士、専従看護師が在籍しており患者様が安心・安全に放射線治療が受けられるような環境作りを心掛けています。

ご不明な点がありましたら、遠慮なく何なりとご相談ください。



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

栗林内科循環器科

Q 開設から現在について

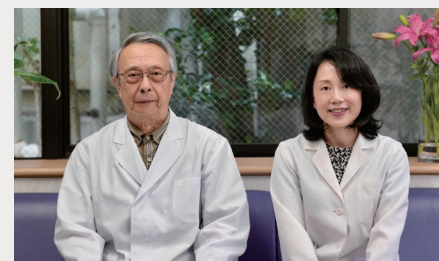
当院は1996年に私の父、栗林敏郎が小笹に開院しました。2020年から田村祥子が加わり現在二人体制で診療を行っています。私自身は2020年まで福岡赤十字病院に6年間勤務し、急性期から慢性期の循環器疾患に携わり、また多くの診療科の先生方から様々なことを学ばせていただきました。現在の地域医療を行う礎になっています。

Q 診療体制や特徴

循環器疾患を専門とし、慢性心不全や不整脈、虚血性心疾患などの診療にあたっています。高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病の管理及び指導に力を入れています。他、感染症や気管支喘息などの一般内科診療を行っています。市の検診等を推奨し、患者さんの全身の健康管理に努めています。

Q 地域の方々へのメッセージ

親子二代にわたり、福岡赤十字病院の先生方、地域の先生方には大変お世話になりありがとうございます。当院は丁寧で患者さんに寄り添った診療を心がけています。受診することで安心してもらえるような信頼関係を築き、適切な治療を行うことを目指しています。循環器疾患が疑われる場合や慢性期治療の必要がある場合、お気軽にご相談いただくと幸いです。精密検査や入院加療が必要な場合には、福岡赤十字病院の先生方や近隣の先生方と連携し最善の医療を提供いたします。地域に根ざしたクリニックとして誠心誠意診療にあたりたいと存じますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



院長 栗林 敏郎 先生
副院長 田村 祥子 先生
住所 〒810-0033 福岡市中央区小笹5丁目5-18
TEL 092-525-3200
診療内容 内科循環器科
診療時間 月火水金 9:00～12:30 / 14:00～17:00
木土 9:00～12:30
休診日 日曜・祝日



ふなこし内科・循環器内科

Q 開設から現在について

1996年に医師となり九州大学循環器内科医局員として大学病院や福岡赤十字病院を含む関連病院で研鑽を積んできました。心臓病全般に対する専門的治療はもちろん、心肺蘇生教育の普及に努めて参りました。大学院、留学時代には心不全の研究に没頭し確固たる証拠（エビデンス）に基づいた正しい医療を患者さまに提供することの重要性を再認識できました。これまで自分が培ったことを地域の方々に還元しようと2015年に中央区笹丘に開院しました。この夏で開院10年となります。

Q 診療体制や特徴

高度経済成長期に住宅地として開発された笹丘地区では高齢化が進んでいます。一方、中心部へのアクセスの良さや子育てのしやすさもあり若い世代の方々も多い街でもあります。この地区で近所の方が気軽に相談できる街医者を目指しています。高血圧、高コレステロール血症など生活習慣病への治療はもちろんですが風邪や胃腸炎などに普通に対応しております。なお循環器診療の専門性は積極的に生かしたいと考えてホームページで循環器病に関する最新の情報を発信しています。さらに胸痛、動悸、むくみなど循環器疾患の存在を疑わせる症状に対して「専門外来」を開設しており、郊外からも患者さんがお越しになります。

Q 地域の方々へのメッセージ

「ご縁があって患者さまの健康管理に携わせて頂いている」謙虚な気持ちを大切に日々頑張っています。生活習慣病は薬を使えば比較的簡単にコントロール可能ですが一番大切なことは日々の食生活や運動の習慣です。当院では管理栄養士が食事栄養指導（保険適用です）を患者さまに提供し、健康管理の土台である生活習慣の是正に携わりながら皆さまの健康を守ります。末永く宜しくお願いいたします。



院長 船越 元 先生
住所 〒810-0034 福岡市中央区笹丘1丁目4-12
TEL 092-722-2754
診療内容 内科・循環器内科・呼吸器内科
診療時間 月火水木 9:00～12:00 / 14:00～17:00
金土 9:00～12:00
休診日 金・土曜午後、日曜・祝日

